

2 学年 前期 学習内容と評価規準

前期の学習内容と学校が評価をするにあたっての規準の例です。

※すべてこのように評価しているわけではありませんが、これを規準にあゆみを作成しております。

【知・技】…知識及び技能の評価

【思・判・表】…思考力、判断力、表現力等の評価

【態】…主体的に学習に取り組む態度の評価

教科	単元名・教材名	評価規準
国語	ふきのとう ※じゅんばんにならぼう ※絵を見てかこう つづけてみよう ※図書館たんけん	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 【思・判・表】場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 【態】場面の様子を表す言葉を手がかりに粘り強く物語の内容を確かめ、これまでの学習をいかして音読を工夫し、感想を伝え合おうとしている。
	日記を 書こう	【知・技】言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 【思・判・表】経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。 【態】進んで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。
	ともだちは どこかな 【コラム】声の 出し方に 気を つけよう	【知・技】音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。 【態】自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようとしている。
	たんぼぼの ちえ	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 【態】粘り強く時間的な順序を考えて内容を捉え、学習の見通しをもって読んだ文章の感想を書こうとしている。
	かんざつ名人に なろう ※いなばの色うさぎ ※同じぶぶんをもつかん字	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。 【態】書くために必要な事柄を進んで集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、これまでの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。
	スイミー ※かん字のひろば①	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【態】粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとしている。
	【じょうほう】メモをとる とき	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 【思・判・表】経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 【態】積極的に必要な事柄を集め、これまでの学習をいかして知らせたいことをメモに取るようとしている。
	こんな もの、見つけたよ	【知・技】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。 【思・判・表】自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 【態】事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、読み手に分かりやすく伝える文章を書こうとしている。
	あったらいいな、こんなもの ※夏がいっぱい	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 【態】粘り強く話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習課題に沿って質問を合せて考えをまとめようとしている。
	お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 【思・判・表】文章を読んで、感じたことや分かったことを共有している。 【態】進んで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。
ことばでみちあんない ※雨のうた ※みの回りのものを読もう ※書いたら、見直そう ※かん字のひろば	【知・技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。 【態】話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って相手を目的地に導く道案内をしようとしている。	
書写	【知・技】 ・書写のやくそく ・いつも気を付けよう ・字を書くしせい ・えんぴつのもち方 ・点や画の組み立て ・書き順 ・点や画の間 ・画の長さ ・画のつき方と交わり方 ことば ・書写ひろげたい①② ・こんなことはないかな ・「はらい」のほうこう ・「おれ」のほうこう 【知・技】 ・文字を書くときの姿勢を正しくしている。 ・筆記具の持ち方を正しくして、書こうとしている。 ・筆順に従って丁寧に書いている。 ・漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の名称を覚えている。 ・点や画の間に注意して、文字を正しく書いている。 ・点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書いている。 ・原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形、横書きの書き方、連絡帳の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 ・点画（払い）（折れ）の方向に注意して、文字を正しく書いている。	

教科	単元名・教材名	評価規準
算 数	ひょうとグラフ	【知・技】身のまわりの事柄について、簡単な分類・整理の仕方を理解し、表やグラフに表したり、それをよんだりすることができる。 【思・判・表】身のまわりの事柄について、表やグラフを用いてその特徴を考えている。 【態】身のまわりの事柄を調べることに進んで関わり、ふり返りを通して表やグラフに整理することで特徴がとらえやすくなるよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	たし算とひき算	【知・技】(2位数)±(1位数)の暗算の仕方を理解し、その計算を暗算することができる。 【思・判・表】既習の1位数の基本的なたし算やひき算をもとに、簡単なたし算とひき算の計算の仕方を考え、説明している。 【態】簡単なたし算とひき算の計算に進んで関わり、ふり返りを通して何十のまとまりに目をつけると暗算で処理できるよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	時こくと時間	【知・技】時刻と時間の違い、午前と午後との区別や正午の意味、日・時・分の関係がわかり、時計の針の動きをもとに、時刻や時間を求めることができる。 【思・判・表】日常生活と関連づけて、時刻や時間について調べたり、午前や午後といった用語を適切に用いて表現したりしている。 【態】1日の生活の中にある時刻と時間に進んで関わり、ふり返りを通して時刻や時間を適切にとらえたり、表現したりすることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	長さ	【知・技】ものさしの仕組みや使い方、長さの単位「cm」「mm」のよみ方やかき方、単位の関係を理解し、長さを「cm」「mm」の単位を用いて表すことができる。また、ものさしを使って、長さを測定したり直線をかいたりすることができる。 【思・判・表】長さの普遍単位の必要性に気づいている。また、量感をもとに長さを予想したり適切な単位を判断したりしている。 【態】長さの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通して長さにあわせて適切な普遍単位を使うことや長さの量感を身につけておくことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	たし算とひき算のひっ算(1) ※ふくしゅう	【知・技】筆算の仕方を理解し、(2位数)±(2位数)の筆算を、一の位から順に、繰り上がりや繰り下がりに気をつけて、手際よく計算することができる。加法及び減法に関して成り立つ性質を理解することができる。 【思・判・表】十進位取り記数法の仕組みをもとに、(2位数)±(2位数)の筆算の仕方を考え、説明している。 【態】加法及び減法に関して成り立つ性質を使って、計算結果を確かめている。 【態】(2位数)±(2位数)の筆算に進んで関わり、ふり返りを通して筆算の仕方のよさや計算に関して成り立つ性質、答えの見当づけや確かめの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	見方考え方をふかめよう(1)	【知・技】加法や減法が用いられる場面について理解し、数量の関係を線分図(テープ図)に表すことができる。 【思・判・表】逆思考を必要とする問題について、数量の関係を線分図(テープ図)に表して考えている。 【態】加法や減法が用いられる場面の問題解決に進んで関わり、ふり返りを通して問題場面を線分図(テープ図)に整理して考えることのよさに気づき、生活や学習に生かそうとしている。
	100をこえる数	【知・技】1000までの数の表し方や仕組みを理解し、十進位取り記数法の仕組みをもとにして、1000までの数を表したりよんだりすることができる。また、等号や不等号の使い方を理解することができる。 【思・判・表】1000までの数について、100までの数と同じように、10や100などを単位としてそのいくつ分とみて表現したり、加減計算の仕方を考えたりしている。また、等号や不等号を用いて大小関係を式に表している。 【態】1000までの数と大小の表し方に進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法や等号・不等号を用いることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	かさ ※買えますか?買えませんか? ※算数のじゅうけんきゅう ※ふくしゅう	【知・技】ますの使い方や、かさの単位「L」、「dL」、「mL」のよみ方・かき方・相互関係を理解している。また、かさの加減計算でできる。 【思・判・表】かさの普遍単位の必要性に気づき、量感をもとにかさを予想したり適切な単位を判断したりしている。 【態】かさの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通してかさにあわせて適切な普遍単位を使うことやかさの量感を身につけておくことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
たし算とひき算のひっ算(2)	【知・技】繰り上がりや繰り下がりに気をつけて、正しく筆算で計算することができる。また、繰り上がりや繰り下がりの操作を通して、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。 【思・判・表】既習の2位数の筆算をもとにして、百の位に繰り上がるたし算とその逆のひき算や、簡単な場合の(3位数)±(2位数)の筆算の仕方を考えている。 【態】(2位数、3位数)±(2位数)の筆算に進んで関わり、ふり返りを通して筆算の仕方のよさ、答えの見当づけや確かめの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。	
生 活	めざせ野菜い作り名人	【知・技】野菜などの植物を育てる学習を通して、それらは生命をもっていることや成長していることに気付いている。 【思・判・表】野菜などの植物を育てる学習を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。 【態】野菜などの植物を育てる学習を通して、植物への親しみをもち、大切にしようとしている。
	まちが大すきたんけんたい	【知・技】地域と関わる学習や、公共物や公共施設などを利用する学習を通して、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていること、身の回りにはみんなが使うものがあること、それらを支えている人々がいることがわかり、適切に接したり利用したりしている。 【思・判・表】地域と関わる学習や、公共物や公共施設などを利用する学習を通して、地域やそこで働いている人々について考えたり、公共施設などのよさや働きを捉えたりしている。 【態】地域と関わる学習や、公共物や公共施設などを利用する学習を通して、地域の人々やさまざまな場所に親しみや愛着をもち、人々と適切に接したり、公共物や公共施設を大切に、安全に正しく利用しようとしている。
	めざせ生きものはかせ	【知・技】生きものを育てる学習を通して、適切な世話の仕方や、それらが生命をもっていることや成長していることに気付いている。 【思・判・表】生きものを育てる学習を通して、生きものがすんでいた場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。 【態】生きものを育てる学習を通して、生きものへの親しみをもち、大切にしようとしている。
音 楽	強さとはやさ	【知・技】曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付いている。 【思・判・表】強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。 【態】呼びかけとこたえや、強弱の変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	はくやドレミとなかよし	【知・技】発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。 【思・判・表】リズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。 【態】歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	きよくに合った歌い方	【知・技】思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思・判・表】旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。 【態】曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などを丁寧に聴いたりする活動などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
図 工	全ての単元を通して	【知・技】クレヨン・絵の具、はさみ、のりなどの材料や道具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。 【態】単元の活動を楽しんで取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。
	おはなみスケッチ	【知・技】春を感じながら絵に表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 【思・判・表】いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、春を探しながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。
	ひかりのプレゼント	【知・技】材料に光を通して形や色を映すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。 【思・判・表】光を通す材料やつくったものの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
	にぎにぎねん土	【知・技】粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表す。 【思・判・表】握った粘土の感触や形から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	わっかでへんしん	【知・技】輪に飾りを付けて自分が変身するものをつくるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。 【思・判・表】輪に材料を付けたり、変身しつつある自分の姿を見ながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	ふしぎなたまご	【知・技】不思議なたまごから生まれるものやお話を、思いを広げて表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。 【思・判・表】たまごをつくりながら想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。
	しんぶんしとなかよし	【知・技】新聞紙に体全体で関わるときの感覚や行為を通して、いろいろな形や触った感じなどに気付く。 【思・判・表】新聞紙の形や大きさ、触った感じなどを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考える。
	まどからこんにちは	【知・技】窓が開く仕組みから思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 【思・判・表】いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、開く窓の形や様子から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。
	たのしかったよ ドキドキしたよ	【知・技】生活の中で心に残っていることを絵に表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 【思・判・表】いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、生活の中で感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。
いろの見え方むげん大	【知・技】透明色紙を使って、楽しい見え方を見付けるときの感覚や行為を通して、いろいろな色や形などに気付いている。 【思・判・表】いろいろな色や形などを基に、自分のイメージをもちながら、透明色紙や透明色紙でできる形や色などの造形的な面白さや楽しさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	

体 育	鬼遊び	【知・技】相手（鬼）にタッチされないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりすることができる。 【思・判・表】楽しく鬼遊びをするための遊び方や規則の中から、自分の力に合った遊び方や規則を選んでいる。 【態】・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。
	かけっこ・リレー・ハードルリレー	【知・技】かけっこ・リレーの行い方がわかる。相手の手の平にタッチをしたりして走ることができる。最後まで全力で走ることができる。 【思・判・表】感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。 【態】走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
	表現・リズム遊び	【知・技】表現遊びの行い方がわかる。 【思・判・表】友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。 【態】表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。
	体づくりの運動遊び	【知・技】多様な動きをつくる運動遊びの行い方がわかる 【思・判・表】友達の動きを見て見付けたよい動きや、行ってみたいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 【態】順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。
	水遊び	【知・技】水につかっただの電車ごっこや鬼遊びなどで、水の抵抗や浮力に負けないように、自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。息を吸って止め、全身の力を抜いていろいろな姿勢で浮くことができる。 【思・判・表】友達の水中でのよい移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 【態】順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。
多様な動きを作る運動遊び ※すもう学習	【知・技】人を押す、引く、運ぶ、支えるなどしたり、力比べをしたりするなどの動きで構成される運動遊びを通して、力を出しきったり、力を入れたり緩めたりする力試しの動きを身に付けることができる。 【思・判・表】友達の動きを見て見付けたよい動きや、行ってみたいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 【態】順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしている。	